

歴史と日人々の賑わいが調和した白河のまちづくり
（事後評価）

ふくしまけん しらかわし
福島県 白河市

令和4年10月

社会資本総合整備計画（優良建築物等整備事業） 事後評価書

計画の名称	歴史と人々の賑わいが調和した白河のまちづくり																				
計画の期間	平成29年度 ～ 平成30年度（2年間）					交付対象	福島県白河市														
計画の目標																					
多様なニーズに適した安全安心で快適な市街地の居住環境を整備する取り組みにより、まちなかの人口減少等へ対応することで、中心市街地を活性化することを目指す。																					
計画の成果目標（定量的指標）																					
・ 中心市街地における居住人口の増加 ・ 中心以外地における歩行者通行者数の増加																					
定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値				備考									
								当初現況値 (H27当初)		中間目標値 (H29当初)		最終目標値 (H30末)									
調査基準日における中心市街地を構成する町字の居住人口を住民基本台帳から数え出して調査し算出する。				2, 656人				2, 687人		2, 703人											
白河市中心市街地活性化基本計画で設定した中心市街地内8地点における平日歩行者通行者数について、午前10時から午後6時までの間に当該地点を通過した歩行者数を数えることで調査し、それらの合計値により算出する。				2, 109人／日				2, 649人／日		2, 920人／日											
全体事業費		合計 (A + B + C)		909. 4 百万円		A		909. 4 百万円		B		0 百万円		C		百万円		効果促進事業費の割合 C／(A + B + C)		0. 0%	
事後評価																					
○事後評価の実施体制、実施時期																					
事後評価の実施体制										事後評価の実施時期											
優良建築物等整備事業担当課で評価を実施										交付期間終了後											
										公表の方法										白河市ホームページにて公表	
1. 交付対象事業の進捗状況																					
交付対象事業																					
A1 基幹事業																					
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考						
									H29	H30	R1	R2	R3								
1-A-1	住環境	一般	白河市	間接	株式会社 楽市白河	優良建築物等整備事業（白河駅前東地区）	共同住宅等 0. 1ha	白河市						487. 0							
1-A-2	住環境	一般	白河市	間接	株式会社 藤田本店	優良建築物等整備事業（二番町地区）	共同住宅 0. 2ha	白河市						422. 4							
合計														909. 4							
B 関連社会資本整備事業																					
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考						
									H24	H25	H26	H27	H28								
合計														0							
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考						
C 効果促進事業																					
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考						
									H24	H25	H26	H27	H28								
合計														0							

番号	一体的に実施することにより期待される効果				備考
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		中心市街地内に新たに2棟の集合住宅が整備されたことにより、市内外からの入居者が増加し、歩行者通行量や居住人口の増加に一定の効果がみられた。			
II 定量的指標の達成状況	指標① 中心市街地内の 居住人口	最終目標値	2,703人	目標値と実績値 に差が出た要因	(計測年度 平成30年度) 少子高齢化による人口減少や、幹線道路の整備による中心市街地外への転出者の増加に加え、資源や人件費の高騰を背景に集合住宅整備完成が計画最終年度にずれ込み、入居者数に反映されなかった。
		最終実績値	2,474人		
	指標② 中心市街地内の 歩行者通行者数	最終目標値	2,920人／日	目標値と実績値 に差が出た要因	(計測年度 平成30年度) 市内外からの入居者が増えたことに加え、平成28年10月に白河文化交流館コミネス、同11月にはマイタウン白河がリニューアルオープンしたことにより、周辺エリアにおいて歩行者通行量が大幅に増加した。
		最終実績値	3,024人／日		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
子育て世代のまちなか居住支援など関連施策と連携し、中心市街地の人口減少の抑制を図るとともに、多様なニーズに適合した安全安心で快適な中心市街地の居住環境及び、歩いて暮らせるまちなか暮らしを推進していく。					

(参考図面)

